

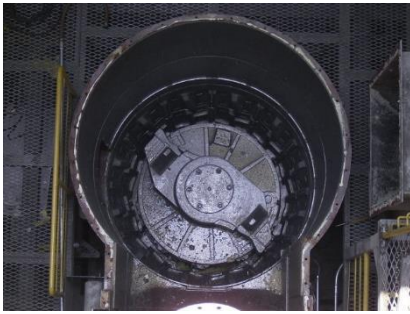


こんにちは！

家電リサイクルが行われるようになって約 20 年になり、作業する人がしんどくならないようにさまざまな工夫がされてきました。どんな変化があったのかを学んでいきましょう！

★関西リサイクルシステムズでは、手で解体できる部品を回収する「手解体：前工程」と破砕機で細かく砕いて鉄・銅・アルミ・プラスチックを選別する「後工程」があります。

◆手解体した後の金属などが混じっているものを破砕機にかけて細かくしていきます。破砕機はミキサーと同じで、底に家電製品を細かくする「刃」があり、「プレーカーライナー」というハンマーのようなものがついて新品は約 40 kg ありますが、半年たつとどれくらいの重さになるでしょうか。



- ① 約 20 kg (半年働いたからね)
- ② 約 35 kg (まだまだがんばれるよ！)
- ③ 約 30 kg (そろそろ交換してもいいかな？)

ヒント：破砕機や他の設備は決められた時期に点検や交換をします。

破砕機は半年ごとにメンテナンスをおこないます。

・クボタ社製 堅型破砕機

答え ( )

◆破砕機からは鉄・銅・アルミ・プラスチックが混ざった状態で出てくるのですが、たくさんの設備を使って金属類を分けています。それぞれの設備は何を分けているのでしょうか。線をつないでみましょう。



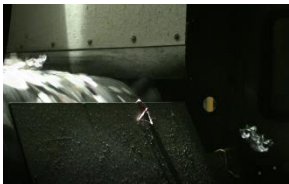
- ① アルミなど



・磁力選別機：磁石の力を使ってあつめます

ヒント：選別する機械は、それぞれ磁石やカメラで色を見分けたりしています。

プラスチックは磁石にくっつかないのでそのまま流れていくことで分けることができます。



- ② 銅



・非鉄選別機：磁石を高速で回転させて磁石にくっつかない金属を飛ばして分けます



- ③ 鉄



・色彩選別機：コンベアの途中に 8 個ある小さなカメラが金属の「色」を見つけて風をふきかけて分けます

※回答はホームページを確認してね。